

学校給食等で使用する食材の放射能汚染に関する照会および対策強化の要請(回答用紙付)

平成 24 年 03 月 12 日

神奈川県川崎市幸区北加瀬 2 丁目 10 番 14 号

庄司 隆広

ライトシード株式会社

http://www.lightseed.co.jp

<補足説明>

1. 本日差し出した書面

- ・次ページ以降(12 ページ)
- ・2 月 2 日差し出し分(20120202A\_LightseedCorp.pdf 2 ページ分割り付け) ※念のため添付
- ・2 月 22 日に受領した回答(20120222A\_LightseedCorp.pdf 2 ページ分割り付け) ※念のため添付

2. 差出場所

計 7 部を下表の差出場所に個別に差し出した。

宛先	差出場所、備考(確認した事項を含む)
川崎市長殿	市民情報室(市長への手紙担当部門)にて手渡し。 特に書面の最初のページは新規に記載した市長へのメッセージであるため、「市長への手紙」として差し出した。 市民情報室の方はとても親切な対応であった。
総務局危機管理室 担当者殿	総務局危機管理室にて手渡し。 ご回答いただいた内容の不備等を伝え、再回答をお願いした。本来であれば対策をしっかりといただければ回答が無くても問題はないと伝えた。 担当者には念のため、2 月 2 日に我が子が個別に差し出した書面の本文は本人に自由に書かせたことを伝えた。
市民・こども局こども本部子育て施策部保育課 担当者殿	市民・こども局こども本部子育て施策部保育課にて手渡し。 保育園の給食の現状について説明し、幼稚園より小さい子供が通うため、対策を強化していただきたいと伝えた。
市民・こども局こども本部子育て支援課 担当者殿	市民・こども局こども本部子育て支援課にて手渡し。 幼稚園の給食の現状について説明し、社団法人川崎市幼稚園協会では対策を行わないため、神奈川県の管轄ではあるが、川崎市として対策をしていただきたいと伝えた。
教育委員会学校教育部健康教育課 担当者殿	教育委員会学校教育部健康教育課にて手渡し。 退室の際、財団法人川崎市学校給食会の担当者の所に集まって何か話し込んでいたのが気になった。
栄養教諭・学校栄養職員 各位	教育委員会学校教育部健康教育課にて手渡し。 通常、栄養教諭・学校栄養職員は市役所ではなく各学校にて勤務しているため教育委員会学校教育部健康教育課より渡していただくようお願いした。教育委員会学校教育部健康教育課に電話で確認したところ、栄養教諭・学校栄養職員には責任者(長)が存在しない。献立は複数名の栄養教諭・学校栄養職員が交替で集まって決めているとのこと。
財団法人川崎市学校給食会 担当者殿	財団法人川崎市学校給食会にて手渡し。 川崎市とは別組織であるが、教育委員会学校教育部健康教育課の隣に窓口がある。担当者の話によると、給食の食材の測定は川崎市ではなく財団法人川崎市学校給食会が川崎市衛生研究所に測定を依頼しているとのこと。パンおよび牛乳の購入は教育委員会学校教育部健康教育課が行っているとのこと。

3. 宛名について

下表のようにボールペンにて不要な宛名を削除して差し出した。要するに差し出した 7 部全ての宛名が異なる。

川崎市長殿 総務局危機管理室 担当者殿 市民・こども局こども本部子育て施策部保育課 担当者殿 市民・こども局こども本部子育て支援課 担当者殿 教育委員会学校教育部健康教育課 担当者殿 栄養教諭・学校栄養職員 各位 財団法人川崎市学校給食会 担当者殿	川崎市長殿 総務局危機管理室 担当者殿 市民・こども局こども本部子育て施策部保育課 担当者殿 市民・こども局こども本部子育て支援課 担当者殿 教育委員会学校教育部健康教育課 担当者殿 栄養教諭・学校栄養職員 各位 財団法人川崎市学校給食会 担当者殿
--	--

川崎市長殿  
総務局危機管理室 担当者殿  
市民・子ども局子ども本部子育て施策部保育課 担当者殿  
市民・子ども局子ども本部子育て支援課 担当者殿  
教育委員会学校教育部健康教育課 担当者殿  
栄養教諭・学校栄養職員 各位  
財団法人川崎市学校給食会 担当者殿

学校給食等で使用する食材の放射能汚染に関する照会および対策強化の要請(回答用紙付)

平成 24 年 03 月 12 日  
神奈川県川崎市幸区北加瀬 2 丁目 10 番 14 号  
庄司 隆広  
ライトシード有限会社  
<http://www.lightseed.co.jp>

当件は平成 24 年 2 月 2 日に差し出し、2 月 22 日に総務局危機管理室からの回答を受領したものであるが、川崎市長および関係者全ての回答が無く、また、回答内容に不備が多く目立つため、再度差し出し、各位の回答をいただきたい。

回答に不備が無いよう、下記 35 項の各質問に対して回答欄を設けたので、下記 35 項の回答欄に回答を記載すること。なお、書ききれない場合は、別紙に記載すること。

川崎市長殿は筋の通らない意見は無視するとのことであるが、当件の文面は筋の通ったものとなっているため、川崎市長殿は無視せずご回答いただきたい。当文書は私自ら各担当部門へ差し出すため、川崎市長殿は他部門を気にせずご回答いただきたい。

当文書および回答は前回差し出し分と同様に全て公開する。

なお、放射能汚染の食材が使用された給食は日々提供され続けている現状であるため、早急の対策・回答を願いたい。

## 回答用紙

回答日	平成 24 年 月 日
回答者の部署	
回答者の役職	
回答者の氏名	

### ■前提知識 - 1. ベクレル(Bq) という単位について

[質問 1]

当記載事項について異議はあるか？異議がある場合は詳しく伺いたい。

[回答 1]

■前提知識 - 2. 放射線には強さの違いがある

[質問 2]

当記載事項について異議はあるか？異議がある場合は詳しく伺いたい。

[回答 2]

■前提知識 - 3. 放射線は安定した原子核になるまで出し続ける

[質問 3]

当記載事項について異議はあるか？異議がある場合は詳しく伺いたい。

[回答 3]

■前提知識 - 4. 食品に含まれる人工放射性核種(放射性物質)の測定について

[質問 4]

当記載事項について異議はあるか？異議がある場合は詳しく伺いたい。

[回答 4]

■前提知識 - 5. 子供は保護者が対応しなければ放射能汚染の給食を食べることを拒否できない

[質問 5]

当記載事項について異議はあるか？異議がある場合は詳しく伺いたい。

[回答 5]

■川崎市学校給食の人工放射性核種の測定について - 1. 学校給食のメグミルク牛乳(神奈川県他)

[質問 6]

放射能汚染の牛乳を市内の子供達に与えていることについてどのように考えているのか？  
担当の教育委員会だけでなく、市長殿、献立を作成した栄養教諭殿・学校栄養職員殿、食材を購入する財団法人川崎市学校給食会担当者殿、各々の考えを伺いたい。

[回答 6]

[質問 7]

平成 23 年 11 月 17 日に入学予定となる川崎市立日吉小学校の就学相談にて学校給食の件について教育委員会に報告するとのことであったが、教育委員会は当件を把握しているのか？また、その後の対応はどのようなものであったのか？  
参照「参考資料 平成 23 年 11 月 17 日 川崎市立日吉小学校 就学相談での相談事項等」

[回答 7]

[質問 8]

測定精度を上げていただきたい。  
説明の通り、川崎市は放射能汚染の現状に沿った測定を行っておらず、無駄な測定を行っていることから、測定時間を長くして定量限界値を 0.1Bq/kg 未満程度まで大幅に引き下げて、放射能汚染の実態を把握していただきたい。説明以外に他県(群馬県等)より高い定量限界値で測定していることから、川崎市の高性能かつ高価なゲルマニウム半導体検出器が役に立っていない。

[回答 8]

[質問 9]

給食の牛乳の産地を「神奈川県他」ではなく、随時メーカーに確認して具体的な産地(県内の地域名または集乳所名まで)を把握し公表していただきたい。

森永乳業の問い合わせでは県内の具体的な地域まで回答していただいたことから、乳業メーカーは具体的な産地を正確に管理していると考えられる。従って、メグミルクでも具体的な地域の回答は可能と考えられ、回答ができないようであれば指導していただきたい。

[回答 9]

[質問 10]

ガンマ線を放出する核種(放射性ヨウ素、放射性セシウム)以外の人工放射性核種(放射性ストロンチウム、ウラン、プルトニウム等)を測定していただきたい。

[回答 10]

[質問 11]

ガンマ線を放出する核種(放射性ヨウ素、放射性セシウム)以外の人工放射性核種(放射性ストロンチウム、ウラン、プルトニウム等)の原乳への混入について、どのように考えているのか?放射性セシウムが検出されているということは、放射性ストロンチウム等の核種の混入の可能性は否定できないと考えられる。

[回答 11]

[質問 12]

献立を考える担当者は放射能汚染の牛乳を避けるために、栄養を考慮して牛乳の代替品(例えば豆乳等)への切り替え、献立の変更を行えないほど栄養に関する知識が乏しいのか？  
献立を作成した栄養教諭殿・学校栄養職員殿にも伺いたい。

[回答 12]

[質問 13]

放射能汚染の無い牛乳を学校給食で提供していただきたい。

[回答 13]

■川崎市学校給食の放射性物質の測定について - 2. 野菜、魚介類、その他食品

[質問 14]

測定精度を上げていただきたい。

[回答 14]

[質問 15]

原発事故現場からの距離が近い産地、放射能汚染の影響が確実に見られた地域(静岡・関東・甲信越・東北、特に太平洋側)の食材を使用する場合は、必ず精密な測定を行い、人工放射性核種の混入が無いことを確認してから使用していただきたい。例えば、放射能汚染の実績がある茨城県産のハクサイ、宮城県産のタラは川崎市では測定していない。

[回答 15]

[質問 16]

ガンマ線を放出する核種(放射性ヨウ素、放射性セシウム)以外の人工放射性核種(放射性ストロンチウム、ウラン、プルトニウム等)を測定していただきたい。

[回答 16]

[質問 17]

ガンマ線を放出する核種(放射性ヨウ素、放射性セシウム)以外の人工放射性核種(放射性ストロンチウム、ウラン、プルトニウム等)の食材への混入について、どのように考えているのか?放射性セシウムが検出されているということは、放射性ストロンチウム等の核種の混入の可能性は否定できないと考えられる。

[回答 17]

■川崎市学校給食で使用する食材について - 1. 調理用牛乳

[質問 18]

調理用牛乳のメーカーおよび品名を全て教えていただきたい。同一メーカーかつ同一商品であれば産地が全面的に変わることはまず考えられない。

[回答 18]

[質問 19]

常時汚染の結果がある群馬県産等以外に酷い汚染結果が出ている宮城県産を何故学校給食で使用するのか？隠し味は放射性ストロンチウムなのか？調理用で放射能汚染牛乳が使われていたらもう我が子に給食を食べさせることはできない。

[回答 19]

[質問 20]

調理用牛乳は給食の牛乳とは異なり大した量を使用しないことから、関東でも容易に入手可能である西日本産の牛乳を使用していただきたい。西日本産であれば、放射性物質の測定は原則不要であり、測定の手間が省け、確実に安全を確保できる。

[回答 20]



■川崎市学校給食で使用する食材について - 2. 野菜、魚介類、その他食品

[質問 21]

放射能汚染の食材を市内の子供達に与えていることについてどのように考えているのか？  
担当の教育委員会だけでなく、市長殿、献立を作成した栄養教諭殿・学校栄養職員殿、食材を購入する財団法人川崎市学校給食会担当者殿、各々の考えを伺いたい。

[回答 21]

[質問 22]

献立を考える担当者は放射能汚染の食材を避けるために、栄養を考慮して代替品への切り替え、献立の変更を行えないほど栄養に関する知識が乏しいのか？  
献立を作成した栄養教諭殿・学校栄養職員殿にも伺いたい。

[回答 22]

[質問 23]

人工放射性核種が検出された食材は使用しないでいただきたい。

[回答 23]

[質問 24]

食材の産地を選定するのは誰か？

[回答 24]

[質問 25]

原発事故等の発生から数年程度は半減期の比較的短い核種の影響を考慮して、可能な限り事故現場から離れた産地の食材を使用していただきたい。

[回答 25]

[質問 26]

放射能汚染の無い食材を学校給食で提供していただきたい。

[回答 26]

■ 幼稚園での給食について

[質問 27]

川崎市では市内の幼稚園の給食の現状について把握しているのか？

[回答 27]

[質問 28]

川崎市では市内の幼稚園に対して何か指導を行っているのか？

市内の多くの幼稚園が加入している社団法人川崎市幼稚園協会では、指導を行っていないとの回答であった。

[回答 28]

[質問 29]

幼稚園児は低年齢であり、より放射能汚染の影響を受けやすいことから、人工放射性核種の摂取を防ぐよう、川崎市として対策および指導していただきたい。

[回答 29]

■保育園での給食について

[質問 30]

川崎市では市内の保育園(認可、無認可を問わず)の給食の現状について把握しているのか？

[回答 30]

[質問 31]

川崎市では市内の保育園(認可、無認可を問わず)に対して何か指導を行っているのか？

[回答 31]

[質問 32]

保育園の給食に不安がある場合や放射能汚染実績のある産地の食材が使用されていた場合は、保護者の希望によって代替品(牛乳・豆乳、弁当、等)の持参を認めるよう指導していただきたい。

[回答 32]

[質問 33]

保育園児は低年齢であり、より放射能汚染の影響を受けやすいことから、人工放射性核種の摂取を防ぐよう、川崎市として対策および指導していただきたい。

[回答 33]

## ■学校給食等全般について

[質問 34]

弊社では放射能汚染の長期的な影響を考慮して、特に子供が放射能汚染食品を摂取することを可能な限り阻止することを保護者に推奨している。例えば、学校では給食の食材の産地を調べ、汚染の可能性が否定できない場合は、担任の先生や校長宛に書面を提出して代替品(牛乳、弁当)を持参させる。この件についてどのように考えているか？

[回答 34]

[質問 35]

放射能汚染の食材が給食に使用されていても安全と言うなら、万一、子供が癌や白血病等になった場合に原因が給食であるかどうかを調査して切り分けなければならない。どのように調査して切り分ければ良いか教えていただきたい。我が家のように普通の食生活では原則西日本産の食品を摂取している家庭もあれば、汚染の目立つ関東・東北産を構わず摂取し続けている家庭もある。原発事故当初に農産物や水道水に関して群馬県や川崎市に問い合わせたところ、原因の特定は困難であり、摂取するかどうかは最終的には自己責任となるという回答をいただいた。しかしながら、学校給食は自己責任で食べさせるものではないため、是非教えていただきたい。

[回答 35]

以上